

『週休2日制確保モデル工事』について

～平成 28 年度試行工事のアンケート結果（概要版）～

1. 『週休2日制確保モデル工事』の試行について

建設業界は、担い手不足が懸念され、若手技術者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題であり、建設現場における『週休2日制』の確保も課題の一つとなっています。

このため、関東地方整備局では、建設現場において、『週休2日制』が確保でき、入職しやすい環境づくりに向けて、現場における現状の課題や問題点を把握すべく、平成 27 年度（10月）から「週休2日制確保モデル工事」（以下、「モデル工事」という。）を実施しているところです。

このモデル工事を通して、週休2日制確保に向けた受発注者の課題の解決に向け、試行工事の受注者に対して、①『現場等での就労環境について』、②『週休2日制確保モデル工事について』、③『週休2日制モデル工事の課題について』について、アンケート調査を行いましたので、この結果をお知らせします。

《参考》：『週休2日制確保モデル工事』について

【発注段階】

- 発注者が指定する工事において、『週休2日制』の試行工事を実施。
- 『週休2日制』については、以下の通りとし発注者が指定。
 - a)発注者が、①～③のいずれか1つを指定
 - b)受注者が、①～③を選択
 - ①一週間のうち、土・日曜日の休日を確保
 - ②一週間のうち、2日間の休日を確保（土、日曜日でなくても可とする。）
 - ③月単位で、4週8休を確保
- 主たる工種（工期を設定する上でのクリティカルとなる工種）について、工期設定の根拠となる作業日数を『見積参考資料』において明示。
- 総合評価での評価はしない。

【施工段階】

- 休暇の「取得計画書」を受注者が作成。

【完了段階】

- 休暇の取得状況を確認するための「月報（又は週報）」を受注者が提出。
なお、休暇の取得計画が達成できなかった場合でもペナルティは課さない。

【契約済みの工事の取り扱いについて】

- 施工途中であっても、受注者より『週休2日制』の試行を実施したいと協議があった場合には、試行工事として認めることができる。

2. 試行工事のアンケート調査について

平成 28 年度のモデル工事は、55 現場で実施（一部、現在も継続）しています。アンケート調査は、平成 29 年 3 月に発注者（監督員）より請負者の現場担当者（現場代理人等）にアンケート調査票*を配布し、調査への協力を求め、4 月中旬までに回答のあった 41 工事について、集計を行い中間報告としてとりまとめています。

なお、現在も施工中の工事については、今後、調査票を回収する予定です。

表－1 アンケート調査の概要

平成 29 年 4 月中旬時点

項目	分類件数	備考	
工事種別	河川（築堤・護岸）	16 件	
	水門	1 件	
	砂防堰堤	1 件	
	河川維持・修繕	2 件	
	道路改良	5 件	
	舗装	3 件	
	鋼橋上部	1 件	
	コンクリート上部	2 件	
	橋梁下部	2 件	
	電線共同溝、情報ボックス	1 件	
	その他（公園工事、通信設備工事等）	7 件	
工事状況（3 末）	完成済み	21 件	
	工期中	20 件	
工期	1 年以上	5 件	
	半年～1 年未満	36 件	
回答者	現場代理人	14 件	
	監理技術者	12 件	
	現場代理人兼監理技術者	15 件	
モデル工事分類	入札公告時	28 件	
	契約後協議	13 件	
週休 2 日制の選択	① 1 週間のうち、土・日曜日の休日を確保	17 件	
	② 1 週間のうち、2 日間の休日を確保	7 件	
	③ 月単位で 4 週 8 休を確保	17 件	

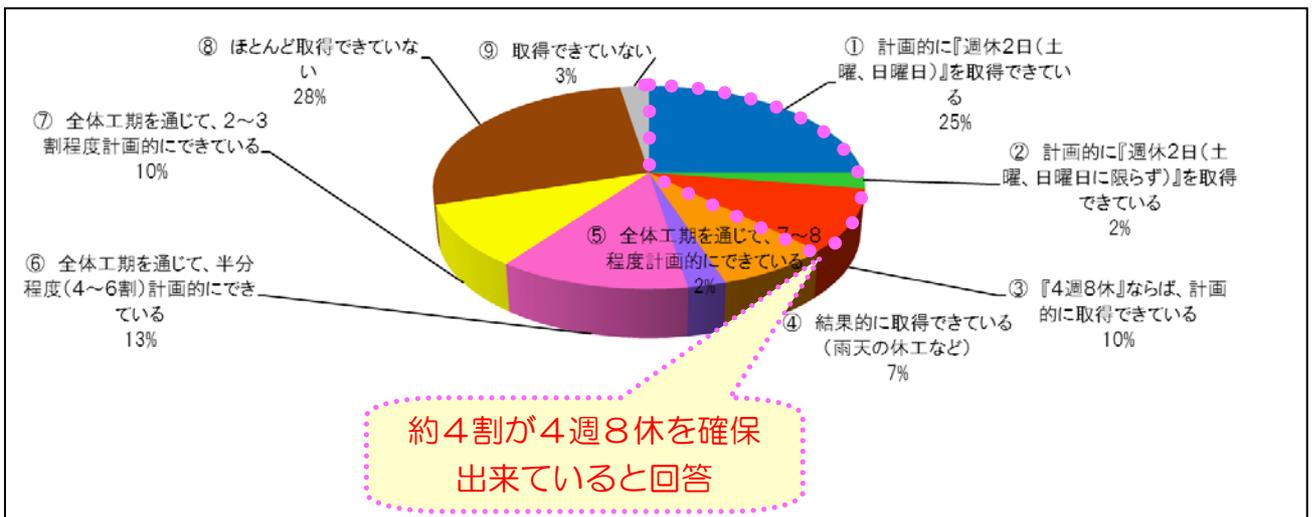
3. アンケート調査結果について

3.1 アンケート調査結果

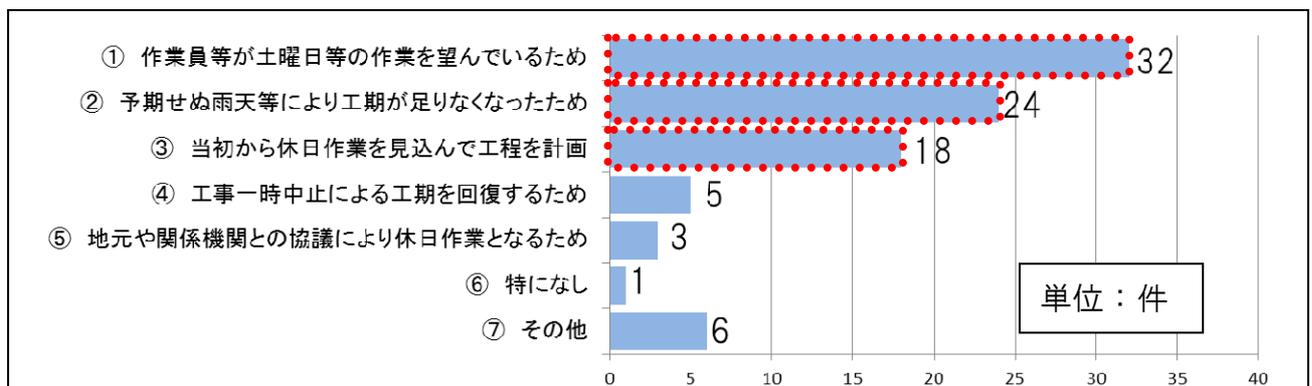
① 現場等での就労環境について

- ・ 従前より、計画的に週休2日（土曜、日曜日）、週休2日（土曜、日曜日に限らず）、4週8休を取得できていると約4割が回答している。
- ・ 一方で、週休2日を取得できない理由としては、「作業員等が土曜日等の作業を望んでいる」、「予期せぬ雨天等により工期が不足」、「当初から休日作業を見込んで工程を計画」といったものをあげている。

●試行工事以前より、週2日以上の休暇を計画的に取得できていますか



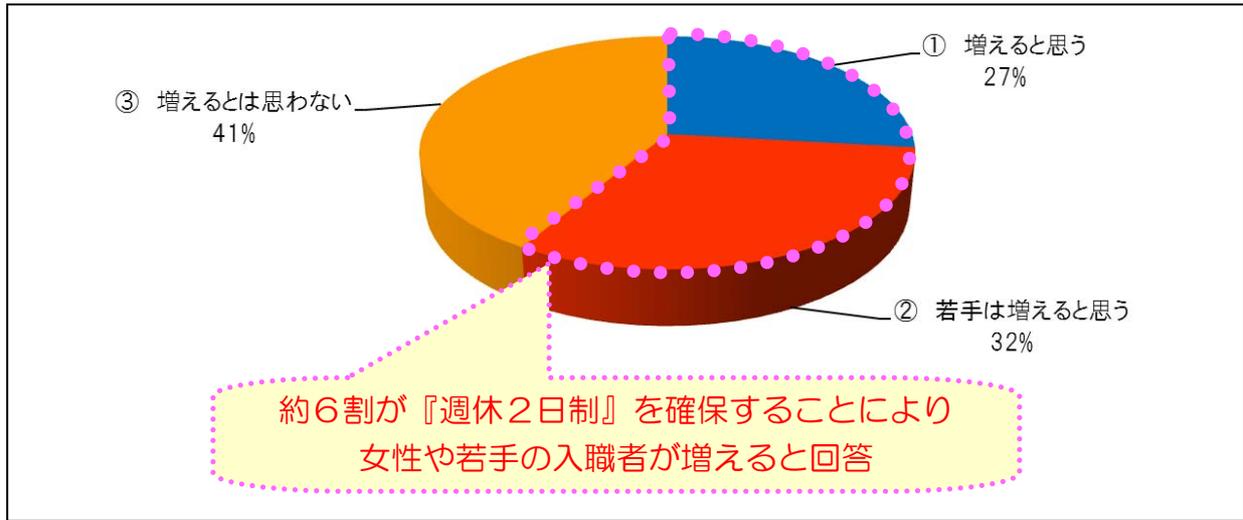
●試行工事以前に、週2日以上が取得できない理由は何ですか（複数回答）



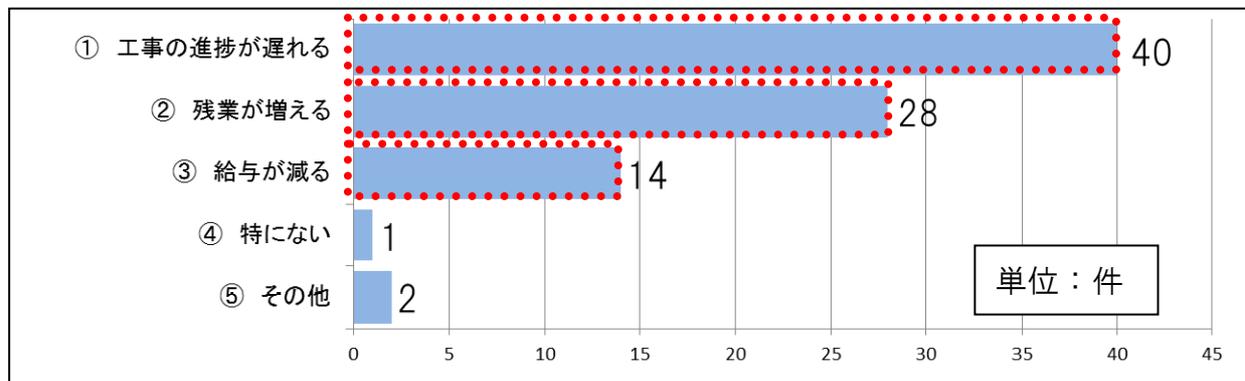
② 週休2日制を実施した場合について

- ・ 「女性や若手の入職者が増える」又は「若手は増える」と約6割が回答している。
- ・ 一方で、「工事の遅延」、「残業の増加」、「給料の減少」といった不安についても回答がありました。

●『週休2日制』を実施することで、建設業に女性や若手の入職者が増えると思いますか



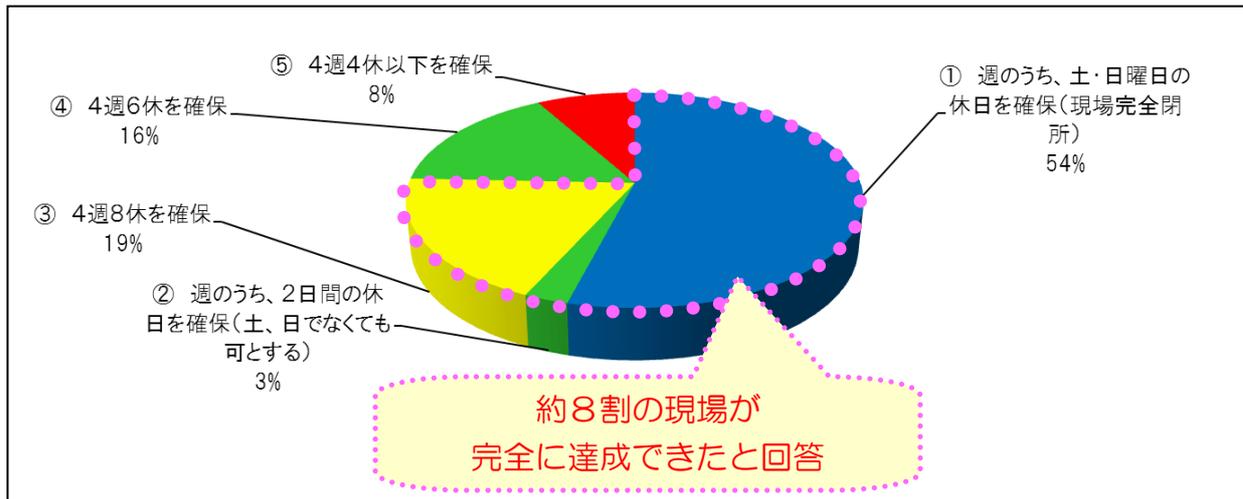
●『週休2日制』を実施することに、不安なことがありますか（複数回答）



③ 試行工事の達成状況について

- ・ 37 工事（現場未着手 4 工事は除く）のうち、**約 8 割（28 工事）**の現場で、週休 2 日が取得できていました。
- ・ 残る約 2 割（9 工事）については、週休 2 日が取得できていませんでした。

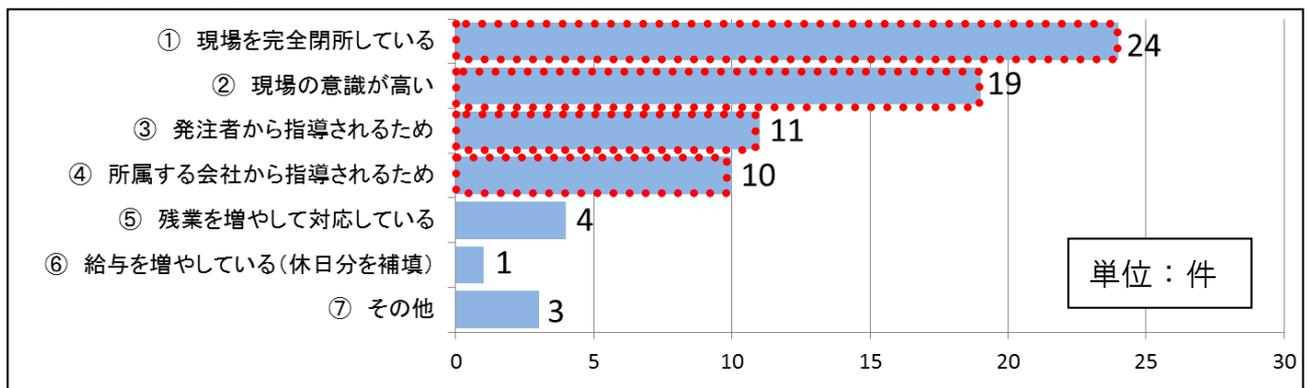
● 『週休 2 日制』 ほどの程度達成しましたか



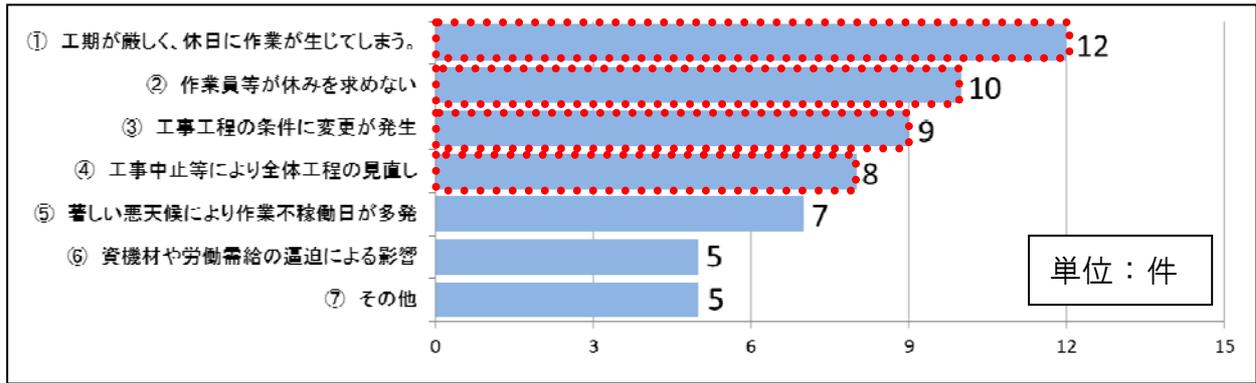
④ 週休 2 日制を達成するための要因について

- ・ 週休 2 日制がうまくいっている要因として、「現場を完全に閉所している」、「現場の意識が高い」、「発注者からの指導」、「所属する会社から指導」といった回答となっている。
- ・ 一方で、達成できていない要因としては、「工期が厳しい」、「作業員が休みを求めない」、「工事工程の条件に変更が発生」、「工事中止等により全体工程の見直し」といった回答となっている。

● 『週休 2 日制』 がうまくいっている要因は何ですか（複数回答）



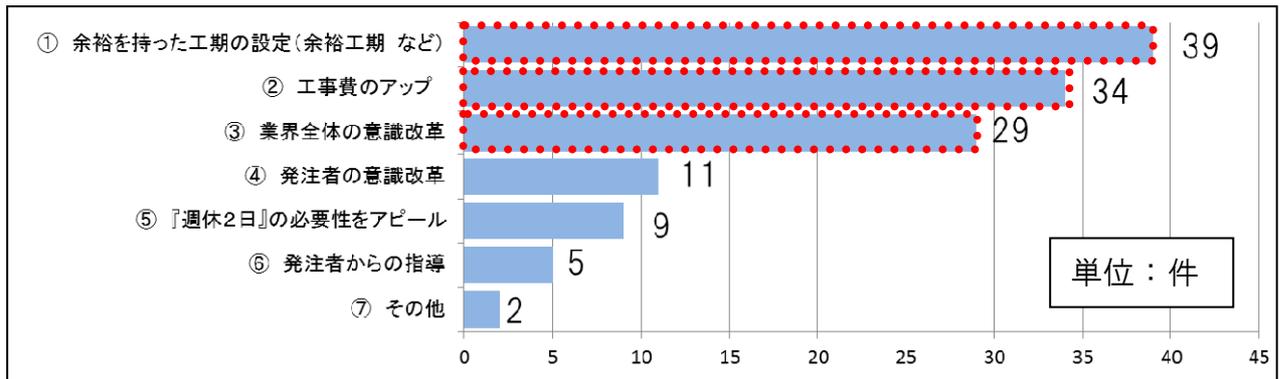
● 『週休2日制』 がうまくいっていない要因は何ですか（複数回答）



⑤ 週休2日制を確保するための方策について

- ・ 週休2日制を確保する上で、発注者に求めることを聞いたところ、「余裕を持った工期の設定」、「工事費のアップ」、「業界全体の意識改革」といった回答が多く寄せられた。

● 『週休2日制』 を確保する上で、発注者に求めることは何ですか（複数回答）



⑥ 週休2日制確保に関する自由意見（主なもの）

週休2日制に関して、自由な意見の主なものは以下の通り。

- 各現場の条件が異なるため「週休2日制」を条件とした場合、工期的に余裕がある現場とそうでない現場が発生すると思う。現場毎の適正な工期設定が可能であれば、積極的に導入してもよいと思う。
- 週休2日制にしていくことは大変良いことだが、業者は工期（期限）がある以上早期に完成させるため休日作業をする工程を設定することになる。又日給月給の作業員は休日分の給料の上乗せを検討しないといけなくなる。
- 今の若者は多少給料は安くても、休みが取れ自分の時間を自由に持てる事が重要視されると思う。仕事の性格上難しいと思うが、週休2日制の実施が望ましい。
- 完全週休2日制になったからといって女性や若手技術者が増えるとは思えませんが、業界全体を通して建設業の魅力等を全面的にアピールすることで、より多くの女性や若者に興味を持ってもらうほかないかと思います。
- 労働時間の短縮、休日確保を取り組み、若い人が「働きたい業界」にしていきたい。

4. 新たな試行工事

関東地方整備局においては、平成29年6月1日に記者発表を行い、平成29年7月1日以降公告する全ての工事（港湾空港関係、営繕工事を除く）を対象に、新たな試行工事をスタートしました。新たな試行工事の4つのポイントは以下のとおりです。

- 【ポイント1】：（施工条件の制約が厳しい工事を除く）原則全ての工事を試行工事の対象とします。
- 【ポイント2】：週休2日を完全に達成した場合は、間接工事費の補正、成績評定での加点評価を行います。
- 【ポイント3】：試行工事の公告時には、工事工程表の添付を原則化するとともに余裕期間制度の設定を積極的に行います。
- 【ポイント4】：工期の変更協議をスムーズに行うために、工事工程クリティカルパスの共有を行います。

◆参考 関東地方整備局 ホームページ

『週休2日の達成を目指す試行工事をスタートします』(平成29年6月1日記者発表)
http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000678681.pdf

『週休2日制モデル工事の概要』

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000678679.pdf